



國際經濟週報

新新聞聯合社發行

51 (No. 422)

昭和三年二月廿五日發行

第六號

第九卷

大正九年十月九日第三種郵便物認可

(本號所掲の電報は昭和三年二月五日より十一日迄に發信のもの)

アメリカ資金の世界的滲透

各國の借金苦を救ふは關稅障壁撤廢のみ

「昨年及び一昨年にアメリカが外國へ貸付けた金の行衛を辿つて見るとドルの行直らぬ國は世界中に殆どないといつてもよい程廣汎に及んでゐる。世界にはアメリカ人を歓迎しない國もあるが、アメリカのドルだけは何所へ行つても大モテであること見える。只フランスはアメリカで直接起債出來ず又フランスも之を欲しないが、それでさへフランスにアメリカの金が流れ込んでゐるのである。先般アメリカで發行された國際マツチ會社の五分利附公債の如きその手取りの一部はフランス政府に融通されてゐるのもその一例である。又アメリカはルーマニアの公債發行を拒絶した。然しロンドン、ベルリン、ウィーン等で發行されるルーマニア關係の公債にはアメリカは喜んで應募してゐる。こんな状態で直接に貸付けずとも間接にアメリカの金の流れ込んでゐない所はない。

又借手の數の増加は一九一四年に比べると隔世の感がある。一九一四年アメリカ市場で發行された外國債は僅に十九、内政府公債十四、民間社債五、その金額は兩者合計で約三千八百萬ドルであつた。所が僅々十三年後の一九二七年はどうかであらう。外國政府公債は一九一四年の夫れの實に六十六倍に達してゐる。更にその起債の性質たるや實に多種多様で單に外國政府のみでなく、世界のあらゆる國のあらゆる地方團體、あらゆる事業を網羅してゐる。

「借つた方が強い」?

右はジャーナル・オヴ・コンマース新聞の新年附録に載つてゐる「アメリカ資金の世界的滲透」といふ記事の抄譯である。同紙は尙ほ左の如く論じてゐる。

「此所に一つの問題が起る。即ちこんなに莫大な金を貸して果して返して貰へる見込みがあるか。或る人はいふ。元金を返して貰ふことは必ずしも必要でない。必要なのは元金でなくて利子である。所謂永久公債と呼ばれるものが、今日存在してゐる所以である。然し近代の銀行經營法では勿論元金の返済を必要條件としてゐる。だがない袖は振れぬ。元金の返済が出来ないとなつた時にはどうす

の右論説は世界各國民共通の興味を惹くべき大問題を提供したものと云ふべきである。

その問題の二は、いかに金が有り餘つてゐるといつた所でアメリカは單に支拂ふといふ約束だけに信賴して何時迄も無涯限に外債に應じ得るかといふ事である。問題の二は「借つた方が強い」といつて何時迄も借り續けたならば累加する元金は元より利息さへ支拂へな

るか。貸金は已むを得ず之れを支拂はしむるために、換言すれば舊い債權を確保するために、新規の貸付を行はねばならぬ破目に陥るのではないか。而して結局借りた方が強い事になるのではないか。今どの位アメリカが外國へ金を貸してゐるかを調べて見ると

▲一九二七年現在(單位千ドル)

國名	一九二七年	一九一四年
ヨーロッパ	1,100,000	300,000
カナダ	300,000	70,000
南米	2,000,000	100,000
中米	2,000,000	100,000
支那及日本	700,000	100,000
ヒスパニック	300,000	50,000
澳洲其他	300,000	50,000
合計	11,000,000	2,000,000

問題の提供

ジャーナル・オヴ・コンマース紙

(毎週一回土曜日發行・毎號十頁)

本號索引(每號同種目の下に連載するものは省略)

九二九年の春を待たずして到來するであらう。余がこの言をなすのは次の理由による。ヨーロッパは從來貸し主であつたが一轉して借り主になつた。戦前のヨーロッパはロシアへだけでも幾十億ポンドを云ふ金を貸付け、その利息として小麦、ライ麦、亞麻、ヘムズ其他の商品約六千萬ポンドを受取つ

英國輸出額

イギリス商務省は一月中のイギリス輸出額を左の通り發表した。(金銀現貨を除く單位千ポンド)

項目	本年一月	昨年一月
輸出	1,000,000	1,200,000
輸入	1,200,000	1,000,000
輸出超過	100,000	200,000
輸入超過	200,000	100,000

歐洲の破産

「世界の經濟は刻一刻と破滅に向つて進みつゝある。速に世界各國がその貿易政策を革めなければ遂に救済し難き破局を見ねばならぬ殊にヨーロッパの經濟的破滅は一

てゐたが、大戦後これはバツタリ途絶した。一方戦前はアメリカへも十二億ポンドを貸付けこれ亦年々六千萬ポンドの利息が入つて來てゐたのである。所が大戦と共にこれは元利併せて皆済されてしまつた。それと共に大戦後は逆に年々五千萬ポンドの戦債利息をアメリカへ拂はねばならなくなつた。

國名	主要事項
世界	アメリカ資金の滲透(五、五三) 自動車生産高減少(五三) 十二月中の對歐輸出額(五三) アメリカン精糖會社無配(五三) 聯邦準備銀行の利上(五三) 一月中の製鋼生産高(五三) 一月末の製鋼注文残高(五三) ワイスコス社人絹増産(五三) 人絹消費増加と生産豫想(五三) 棉實及棉實油統計(五三) ゴム相場騰落(五三)
米國	一月中の輸出輸入額(五三) 同 銀塊輸出輸入額(五三) 同 ロンドン米相場(以下毎號)(五三) 同 一月中對日鐵類輸出高(五三) 同 ランカシア紡績業不振(五三) 同 一月中の綿糸布輸出高(五三) 同 日本生糸及絹織物輸入高(五三) 同 對日毛織物輸入高(五三) 同 ▲ゴム制限法運用狀態調査(五三) 同 ゴム相場の騰落(五三) 同 一月中の對日硫安輸出高(五三) 同 英國石炭提携の提案(五三)
英國	佛國一院の政府財政政策信認(五三) 獨逸一二月對日硫安輸出高(五三) 露國一北氷洋航路開始準備(五三) ゴリ一外債交渉成立(五三) 印度一準備銀行法案撤回(五三) 同 ヘンアン相場(以下毎號)(五三) 同 甘蔗糖最終豫想(五三) 同 ゴム制限法引締めを提唱(五三) 同 ゴム制限は來年撤廢か(五三)
錫蘭	馬來一イギリス植民次官渡來(五三)
爪哇	一月迄の砂糖荷動統計(五三) 一月中の砂糖輸出高(五三)
日本	日本電力外債發行(五三) 東京市の佛債利拂事件敗訴(五三)
世界	アメリカ資金の滲透(五、五三) 鐵鋼生産高減少(五三) 二七年人絹生産高(五三) アンボーン砂糖豫想(五三) 主要港石炭相場(五三)

A4
8

昭和三年二月五日—十一日發信

アメリカ資金 の世界的滲透

（前頁より續く）
あと二ヶ年

「かく金貨國が一變して借金國となり、而も今日迄大した破綻をも見せず糊塗して來たのは一にアメリカから借金又借金をして來た爲めである。この借金もあともう二ヶ年が關の山である。アメリカ銀行家は既にこの形勢を非常に憂慮してゐる。然し若し貸付を拒絶すれば棉花等の重要輸出品の生産者を壓迫する事になり、國內の不景氣を招來する事になるから一九二八年の大統領選挙を控へた今日政治的意味に於ても思ひ切つた手段はとるまい。然し明くる一九二九年の春にはヨーロッパは最早アメリカから新規の金を借りて舊い債務の利息を拂ふことが出来なくなるであらう。而して恐しい破産に直面する事にならう。破産はやがて世界經濟の混亂とならう。」

唯一の活路

「この危機に處する途について余はアメリカ、イギリス、ドイツ等の専門家の意見を交換したが遂に適當なる途を發見し得なかつた。然しこの破産は如何にしてでも未然に防がねばならぬ。而して唯一の途は國際間の關稅障壁撤廢にある。抑も各國殊にヨーロッパ諸國が相競つて國稅其他通商の障壁を高くした理由は彼等が戰後貧乏になつたから、なるべく外國品の購入を避けんと云ふ考へから出たも

のである。そこで種々外國品の流入を防ぐ障壁を設けた。成程流入は防げたが今度は自國の品が外國へ賣れなくなり、自繩自縛、形勢を益々悪化させるに止まつたのである。ヨーロッパは戰前外國から買つてゐた物資と同じ額を買ふには自己の生産品を戰前よりも三億ポンド方多く外國へ賣らねばならなくなつてゐる。而も賣らんとして忽ち高い障壁に打つつかるのである。

昨年ゼネバで開かれた國際經濟會議はこの關稅障壁の撤廢を以て最喫緊事となした。然し世界は果してこの勸告に従ひつつありや、否寧ろこれと逆行しつつあるではないか。今後の國際經濟會議は細目を議する専門家よりも大局を動かす政治家の會議とする必要がある。而もこれは速に開く必要がある。形勢は正に急を告げてゐる。」

米國經濟界

○アメリカの自動車工業

アメリカ自動車業會議所(National Automobile Chamber of Commerce)の調査によれば昨年末のアメリカ乗用及び貨物自動車の登録数は二千三百二十五萬五千臺で、一昨年より約八十萬臺増加、世界の總登録數二千八百九十萬臺の約八割を占めてゐる。而して昨年の生産高は左の如くである。

乗用自動車 一五七、〇〇〇 一九二六年
三〇六、〇〇〇 一九二七年
貨物自動車 一五七、〇〇〇 一九二六年
三〇六、〇〇〇 一九二七年

貨物自動車

アメリカに於て自動車工業及び關係工業に従事してゐる人員は三百六十七萬五千人、自動車販賣商五萬二千五百九十二軒、これを見ても斯業の如何に大なるか窺はれる。尙ほ昨年中に自動車工業に於て消費された原料其他を統計的に示せば次の如くである。

品名	一九二七年	一九二六年
ゴム(消費高の)	八三%	八三%
板ガラス(同)	五%	五%
鋼及鋼鐵(同)	一%	一%
ガソリン使用量	九、六七〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
石油(同)	五、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
タイヤ向生ゴム消費高	三、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
同 綿布同	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同 單位、ガソリン及び石油は千ガロン、ゴム及び綿布消費高は千封度		

○十二月對歐輸出入額

アメリカ商務省發表十二月中のアメリカ對歐輸出入額は左の通りである。(單位千ドル)

項目	一月以	前年
輸入	1,000,000	1,200,000
輸出	2,000,000	2,500,000
輸出超過	1,000,000	1,300,000
輸入超過	1,000,000	800,000

紐育株式市況

▲精糖株無配の爲慘落▼

糖業界の打ち續く不振はアメリカ最大の製糖會社たるアメリカン精製糖會社が八日無配當を發表するに及び俄然ウォール街の注意を惹くに至つた。この豫期しなかつた報道により同社株式は十一ドルの大慘落を演じ拂込額面百ドルの同株が五十六ドルに落込んだ。これは過去二ヶ年の安値である。

（備考）アメリカン精製糖會社の資本金は九千九百九十九萬九千九百九十九ドル、營業純益七百九十九萬九千九百九十九ドル、普通株配當五分であつた。

過般商務長官フーヅァー氏はアメリカ商工業の景氣が悪くなるやうな心配毫もなしと聲明したが、それに拘らず株式市場は今週初め頗る落付かなかつた。これは聯邦準備銀行が續々利上げを發表しこれにつれて諸株の賣物が嵩んだ結果である。聯邦準備局當局が株式市場の思惑熱鎮靜を欲してゐることは當業者も認めてゐるが、然し強氣の思惑筋は何分産業界の基礎堅實その他根本的の好材料があるのだから準備局の政策も結局大した利き目はあるまいと信じてゐる。

コールマナーは十日又復四歩四分の一と四分の一低落了。これに刺戟されて先頃來賣り方に廻つてゐた連中は多量の買ひ戻しを試み、又買ひ聯合も有力な買物を出した。これに製鐵業の景氣良好の報も手傳つて一流採算株は急反騰を演じた。

證券市場に於てはアメリカ内地の公債は鈍狀であるが、外國の公債は新規發行が頻々として行はれるに拘らず需要が旺盛である。

○準備銀行利上

アメリカ聯邦準備銀行は左の如く何れも公定割引歩合を三歩半より四歩に引上げた。

ミネアポリス	二月六日(月)
ダラス	二月七日(火)
カンサスシティ	二月七日(火)
セントルイス	二月七日(火)
アトランタ	二月十日(金)

（備考）以上の利上げによりアメリカの十二聯邦準備銀行の内割引率の引上げを行はぬものはセントルイス、クリーヴランド及びヒラデルフィアの三行のみとなつた。

○ユーゴ外債交渉成立

ユーゴスラヴィヤは新に通貨安定及び公共事業公債を發行すべく豫てより外國銀行と交渉中の所今回交渉成立した。その内容として傳へられる所によると右關係のイギリス及びアメリカ銀行團は五千萬ポンド迄の外債引受けを承諾した。而して第一回發行分は千二百萬ポンドで四月一日迄に發行の豫定である。因に右銀行團はロンドンのロスチャイルド商會、パリン兄弟商會、ヘンリー・シムズ兄弟商會、ハンブローズ商會、ユーゴスラヴィヤのブレイヤール商會、ニューヨークのナショナル銀行、クインローブ商會等より成つてゐる。

○日本電力外債發行

（備考）ユーゴ外債のハリス・フォード・スチール・カンパニーの第一擔保外債九百萬ドルを公募する筈である。

日本電力の社債九百萬ドルは本日ハリス・フォード・スチール商會より賣出された。その條件は左の如くである。

- 一、發行總額 九、〇〇〇、〇〇〇
- 二、利率 年六分半
- 三、發行價格 九十四
- 四、償還期限 二十五ヶ年
- 五、利 潤 七分以上

倫敦株式市況

今週のロンドン株式市場は人氣が概して良好となつた。然しまだ幾分まちまちを呈してゐる所もある。市場の興味は主として若干の工業株に集つてゐるが、就中マルコンニ無電株、グラモホーン蓄音器株が目立つてゐる。優等證券類はぼんやりである。これはイギリス藏相チャーチル氏が新豫算では所得稅減額は出來さうもないといふ意味の演説を行つたのと、金融不安に基くのである。インド公債も鈍狀、フランスその他ヨーロッパ公債は落付。支那公債は脆りてある。又日本公債は閑散である。

工業株の中人絹株は又復人氣が出て來たが氣配は幾分まちまちである。ゴム株は初めから不活潑であつたが九日に至りゴム相場に靡いて更に暴落した。

△ロンドン公債相場

品名	利率	價格
日本公債	六分	九十四
英國六分利公債	六分	九十四
第三回英國公債	六分	九十四
東京市電氣事業公債	六分	九十四
同電氣事業公債	六分	九十四
大阪電氣水道同	六分	九十四
第十三回興業社債	六分	九十四
第十四回興業社債	六分	九十四
東京電燈會社債	六分	九十四
東京市電氣會社債	六分	九十四
東京市新英貨公債	六分	九十四

出た來たが氣配は幾分まちまちである。ゴム株は初めから不活潑であつたが九日に至りゴム相場に靡いて更に暴落した。

インド準備銀行法案撤回

理事選任條項立法議會で否決さる

德里 二月六日(月)
 インド政府の新準備銀行法案を一日の議會に上程せんとして議長パテル氏に拒まれその成行きに就き不安を醸しつゝあつたが財政長官ブラケット氏は本日の立法議會に次の如く辯明した。

「政府は議長の措置に對していさぎよく服従するものである。然し政府は新準備銀行法案を上程せんとする動議が議會の慣例を破るものと思つてゐない。又政府は過般新準備銀行法案の全文を官報號外を以て發表したがこれはインド國民をしてその内容を豫め知悉せしめんとする意圖に出でたものであつて、決して議會を無視してその意思に反するやうな準備銀行を作らうとするものではない。従つて政府は敢て新法案上程を固執せず、舊法案を今週上程して審議を受ける積りである。」

德里 二月九日(木)
 インド政府は目下立法議會に提出中の準備銀行法案を全然撤回するに決し、明日財政長官ブラケット氏が議會で聲明する事になつた。政府が右法案を撤回するに至つたのは昨日右法案中理事選任を規定する條項が政府の敗北となつた爲めである。而してインド國民黨が強く反對投票を行つたのはインド法制調査委員(インド自治問題に關聯して現行假自治法の實績を調査する委員)サイモン氏一行の來着を動機として起つた排英運動に氣が立つてゐるのが主たる原因となつてゐる。

德里 二月十日(金)
 財政長官ブラケット氏は本日立法議會に於て準備銀行法案撤回の事情に就き左の如く聲明した。

「政府は準備銀行法案提出に關してはインド財政の現狀を慎重に考慮した。又各方面の意見も大部分之れが成立を希望してゐるに信ずる。これを堅實なる基礎の上に設立する事を欲するや否やに就ては立法議會はこれに十分の時日と機会を有した筈である。八日の議會の表決は全然之れが設立に反對するものとは解し難いが、然し理事選任に關する條項を否決したことは該法案を骨抜きにするものである。斯くて立法議會大多數の支持を得ざる點より見て立法議會は現行銀行制度の存続を希望するものと政府は解釋する。又これに代るべき案をインド民衆が熱烈に希望してゐる様子もないから政府は更に進んで政府案の趣旨に基く代案の提出を試みる意思はないのである。」

德里 二月十日(金)
 インド政府が今回インド準備銀行法案を撤回するやインド帝國銀行株に對して思惑買ひが盛に行はれた結果同株は百ポイントの騰貴を見た。これによつて見ればインドの商業界が準備銀行の必要を感じてゐる事は疑ひない。

英蘭銀行週報

為替及銀塊

ロンドン 二月九日(木)
 △二月九日現在(單位千ポンド)
 公金預金 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 其他預金 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 政府證券 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 其他證券 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 紙幣及金銀貨 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 金銀地金在高 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 預金準備割合 一〇〇%
 紙幣流通高 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 最近數週統計(單位十萬ポンド)
 諸預 諸證券準備 金銀紙幣
 一月廿六日 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 二月二日 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 二月九日 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン為替市場に於てはヨーロッパ為替が依然大して動かない。米英為替も目下の所落付いてゐる。日本為替、支那為替は何れも頗る閑散である。

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン銀塊市場に關して著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン銀塊市場に關して著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン銀塊市場に關して著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

倫敦金融市況

倫敦銀塊市況

ロンドン 二月九日(木)
 納税に關聯して資金の回收が旺盛な爲め週末には市況は又復引締りを呈した。

手形割引市場は金融引締りに伴

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン銀塊市場に關して著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

ロンドン 二月九日(木)

受入	高	今週	解禁以來
引出	高	今週	解禁以來
差引純流出	高	今週	解禁以來
純流入	低	今週	解禁以來
受入	低	今週	解禁以來
引出	低	今週	解禁以來
差引純流出	低	今週	解禁以來
純流入	高	今週	解禁以來

ロンドン 二月九日(木)

受入	高	今週	解禁以來
引出	高	今週	解禁以來
差引純流出	高	今週	解禁以來
純流入	低	今週	解禁以來
受入	低	今週	解禁以來
引出	低	今週	解禁以來
差引純流出	低	今週	解禁以來
純流入	高	今週	解禁以來

倫敦銀塊市況

倫敦銀塊市況

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン銀塊市場に關して著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン銀塊市場に關して著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

ロンドン 二月九日(木)

受入	高	今週	解禁以來
引出	高	今週	解禁以來
差引純流出	高	今週	解禁以來
純流入	低	今週	解禁以來
受入	低	今週	解禁以來
引出	低	今週	解禁以來
差引純流出	低	今週	解禁以來
純流入	高	今週	解禁以來

ロンドン 二月九日(木)

受入	高	今週	解禁以來
引出	高	今週	解禁以來
差引純流出	高	今週	解禁以來
純流入	低	今週	解禁以來
受入	低	今週	解禁以來
引出	低	今週	解禁以來
差引純流出	低	今週	解禁以來
純流入	高	今週	解禁以來

倫敦銀塊市況

倫敦銀塊市況

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン銀塊市場に關して著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

ロンドン 二月九日(木)
 今週のロンドン銀塊市場に關して著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

ロンドン 二月九日(木)

受入	高	今週	解禁以來
引出	高	今週	解禁以來
差引純流出	高	今週	解禁以來
純流入	低	今週	解禁以來
受入	低	今週	解禁以來
引出	低	今週	解禁以來
差引純流出	低	今週	解禁以來
純流入	高	今週	解禁以來

ロンドン 二月九日(木)

受入	高	今週	解禁以來
引出	高	今週	解禁以來
差引純流出	高	今週	解禁以來
純流入	低	今週	解禁以來
受入	低	今週	解禁以來
引出	低	今週	解禁以來
差引純流出	低	今週	解禁以來
純流入	高	今週	解禁以來

フラン貨安定策を含む 佛國財政策信認

フランス首相兼蔵相ボアンカレ氏は去る二日及び三日の兩日下院に於て長時間に亘り豫算案並にフランの安定問題に關して報告演説を試みた。氏は特にフランの安定問題に關しては現在なほ事實上幾多の困難あるも時期熟し次第直ちにこれが具体案を提出すべしと述べた。下院は本日の本會議に於て蔵相ボアンカレ氏の財政政策に對する信任投票を行ひ、百卅一票對三百七十票の多數で信任案を可決した。因に各新聞紙の報ずる所によれば今期議會は事實上十日を以て閉會同様なるものである

○英國金銀輸出入高

二月八日迄の一週間 (單位千ポンド)	二、四〇〇
同前年同期	二、四〇〇
同前年同月	二、四〇〇
同前年同月	二、四〇〇
同前年同月	二、四〇〇

○金フラン利拂事件

豫て一九一二年發行五分利附東京市債を所有するフランス人より東京市を相手取り、右の償還及び利拂ひを現在のフラン相場によらずして金フランにてなすべしとの訴訟が起され競争中の所、裁判所は本日次の如く原告に有利の判決を下した。即ちポンド貨にて契約されたる債券に對する償還及び利拂ひはポンド貨の價格を以てなすべきである。従つて支拂當日のポンド爲替によるフラン、即ち金フランにて支拂はるべきである

○インド政府通貨週報

紙幣流通高	一、五〇〇
銀貨流通高	一、五〇〇
金貨流通高	一、五〇〇
總額	一、五〇〇
同前年同期	一、五〇〇
同前年同月	一、五〇〇

○上海銀塊在荷高

二月九日	三、〇〇〇
同前年同期	三、〇〇〇
同前年同月	三、〇〇〇
同前年同月	三、〇〇〇
同前年同月	三、〇〇〇

○桑港より銀塊積出高

二月十日(金)	一、〇〇〇
同前年同期	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇

金物

米國金物市況

△鋼鐵 市況は睨りしてゐる。製鐵會社の報告によると新規の取引は増加を示し、一方舊約定品の積出しも増加してゐる。
△鉄鋼 取引は見直し、底意も落付いてゐる。
△銅 閑散、初め買物が相當にあつたが、其の後内地の需要は減少した。輸出需要も少ない。然し製鐵會社は餘り多く賣物を出さず、一般に賣り値を十四セント八分ノ一に支へてゐる。
△錫 市況引弛み、相場は一九二五年四月以來の安値に落ち込んだ然し消費家の需要は安値に咬られて見直してゐる。二月中の産地海峽植民地よりの積出高は多量に上るものと豫想されてゐる。
△鉛 落付、消費需要はぼつぼつて、主に現物又は期近物に限られてゐる。
△亜鉛 ロンドン市場の區々なるに拘らず落付いてゐる。
△安質母尼 閑散である。
△ニューヨーク金物相場
二月六日(月) (ヒツツバーク渡)
鐵(第一號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第二號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第三號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第四號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第五號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第六號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第七號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第八號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第九號鑄物用、噸) 一元九角五分
鐵(第十號鑄物用、噸) 一元九角五分

○一月中の鐵鋼生産高

一月中	一、〇〇〇
同前年同期	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇

○一月末製鋼注文残高

一月末に於けるユー・エス・スチール會社の注文残高は四百二十七萬六千噸である	四百二十七萬六千噸
過去十二年一月	四百二十七萬六千噸
同前年同期	四百二十七萬六千噸
同前年同月	四百二十七萬六千噸
同前年同月	四百二十七萬六千噸

英國金物市況

各品とも氣配は今週一段と軟弱	軟弱
同前年同期	軟弱
同前年同月	軟弱
同前年同月	軟弱
同前年同月	軟弱

世界的減少

○鐵鋼生産高の世界的減少
アイアン・エーヂ誌調査、昨年の世界の鐵鋼界に於て特記すべきは先づ第一に鐵鋼の生産高が戦後初めて一九一三年(戦前)の數字を超過したることである。即ち昨年の世界の鐵鋼生産高は八千四百二十萬噸に上り、一九二六年より五百六十一萬噸増加、一九一三年より五百五十五萬噸の増加を示した。又世界鐵鋼生産高も九千八百二十萬噸と過去の最高たる一九二六年の九千七百七十九萬噸より更に六百四十一萬噸の大激増を示した。アメリカの生産高が激減(鐵鋼約四百萬噸減少)したに拘らず前記の如く激増を見たのはヨーロッパ特にイギリス、ドイツに於て激増した爲めである。今昨年の主要國鐵鋼及び鋼鐵生産高を過去の數字に比較して示せば左の如くである。(單位千噸)

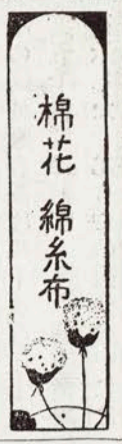
世界	九、〇〇〇
内アメリカ	三、〇〇〇
イギリス	二、〇〇〇
フランス	一、〇〇〇
ベルギー	一、〇〇〇
ドイツ	一、〇〇〇
日本	一、〇〇〇
その他	一、〇〇〇

○一月對日鐵類輸出高

一月對日鐵類輸出高	一、〇〇〇
同前年同期	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇

○鋼鐵生産高

鋼鐵生産高	一、〇〇〇
同前年同期	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇
同前年同月	一、〇〇〇



米國棉花市況

今週のニューヨーク棉花市場の人氣は最近大分見直した。これは現物市場が落付いて來たのと、相場場の下落により新棉の植付増加を防ぐことになるであらうと信ぜられる爲めである。この結果は賣物は減退したが、一方需要も大して現はれるに至らなかつた。

紐育綿絲相場

二月七日(火)	一付度	三三仙
二〇手單糸	同	四九仙
四〇手二合燃	同	七〇仙
六〇手同	同	七〇仙

英國棉花市況

今週のロンドン棉花市場の形勢は依然變化がなく、殆ど今週中商内が少なかつた。週初めに目立つて居たのは安値には賣物が出なかつた事である。然し一般に相場の安定するのを待つて居る。リヴァプール市場に於て取引せられた棉花にしてアメリカより直接インドへ積出されたものは今季に入つて今日迄に恐らく四萬俵乃至五萬俵に上つて居るであらうと言はれる。現物取引は相變らず閑散である。エジプト棉には買物が増加した。

埃及棉花統計

アレキサンドリア(一般取引)	二月十一日(土)
輸出高	四、五九六
在荷高	三、三三三
累計	三、〇九〇
今年	一、一
昨年	一、一
今年	一、一
昨年	一、一

米國棉花統計

ニューヨーク棉花取引所發表(單位千俵)	二月十日(金)
輸出高	一、一〇九
在荷高	一、一〇九
累計	一、一〇九
今年	一、一〇九
昨年	一、一〇九
今年	一、一〇九
昨年	一、一〇九

英國綿糸布市況

マンチエスター(二月八日(水))
綿布綿糸とも原棉の小賤りに連れ引合は更に増加した。然し買手は尚警戒的態度を緩めない。綿糸相場は左の通りである。

蘭カシヤ

無配當會社三分二を占む
マンチエスター(二月二日(郵便))
マンチエスター・ガーデアン新開調査、昨年ランカシヤ米棉部紡績の萎微不振の跡を辿るに左の如くである。年初の一、二月間は可成り需要が旺盛であつたが、何分在荷が多いの故生産過剰の爲め利潤のある程度まで相場を上げる事は不可能であつた。この状態は殆ど年末まで續いた。尤も四月乃至十一月は綿糸同盟會(Cotton Yarn Association)が生産制限及び最低

紡績業の不振

イギリス商務省發表、一月中のイギリス綿糸輸出高は左の如くである。	
輸出總額	三、七〇〇
内インド	一、一〇〇
内日本	一、一〇〇
内歐洲	一、一〇〇
内非洲	一、一〇〇
内大洋洲	一、一〇〇
内其他	一、一〇〇

一月中の綿糸布輸出高

イギリス商務省發表、一月中のイギリス綿糸輸出高は左の如くである。	
輸出總額	三、七〇〇
内インド	一、一〇〇
内日本	一、一〇〇
内歐洲	一、一〇〇
内非洲	一、一〇〇
内大洋洲	一、一〇〇
内其他	一、一〇〇

印度棉花市況

今週のボンベイ棉花市況は極めて鈍狀であつた。これはヨーロッパ及び極東方面からの買物が少かつたためである。又ボンベイの紡績が差當つての必要しか買付けなかつた事もその一因である。目下輸出港に於ける未約定棉の在荷は多く、一方一部の手持筋は手持品を處分せんと焦つてゐる。それにも拘らず先物の相場は見直してゐる。これは海外高の爲めである。

孟買棉花統計

ボンベイ(二月十一日(土))	
輸出高	七、七
在荷高	七、七
累計	七、七
今年	七、七
昨年	七、七
今年	七、七
昨年	七、七

孟買綿絲布相場

二月十一日(土)	
晒金布(五〇番ライプマン)	一六留
晒金布(三〇番ライプマン)	九留
粗布(三〇ヤード龍)	七留
二〇手綿絲	二安ナ
一〇手同	九安ナ

孟買綿糸布市況不味

在ボンベイ原領事二月十七日發電によれば綿糸布は何れも品もたれ氣味でちり安を告げてゐる。しかし高値警戒の模様である。一般の景氣は尚沈滞を脱しない。

定期市場に於てはブローチ四、五月渡に對し賣り手よりも買手が多し。これは今迄オムラ三月限及びブローチ四、五月限の空賣り玉や繋ぎ賣りが相當多額に上つて居た爲めである。一方當業者はこれ等棉花を賣り溢つてゐる。これは特にブローチ・シュラットの收穫が餘り多くなつた爲めである。前週末の天候は季節外れに悪く各州とも少量ながら降雨があつた。特にブローチ地方に於ては氣温の著しき低下により霜の懸念がある。但し同地方の被害は一般的にはないが、一部ブローチ棉の品質は幾分悪くなつた模様である。

生絲

米國生絲市況

ニューヨーク 二月九日(木)

今週のニューヨーク生糸市況は稍や活気が薄らいて来たが輸入商筋は前途樂觀気分である。これは春向きの絹製品賣行きが増加してゐる故である。

絹製品 需要は多くなり、賣手は一段と安心の態である。捺染物は依然最も賣行きがよい。クレイブ・ド・シーヌの無地物やジョーゼットも盛に賣れてゐる。下着の製造會社はラヂウムを多量に買付けた。相場は小高い。

○ウイスコース社

人絹生産高新記録

ニューヨーク 一月七日(郵便)

アメリカのウイスコース人絹會社の報告によると昨年十二月の生産高は三百九十三萬五千封度に上り産額の新記録を作つた。この十二月中の生産高を基礎として計算すれば同社の四大工場は年額四千七百二十二萬封度の割で運轉してゐる事になる。これから推算すれば一九二八年中の同社生産高は前年よりも六百二十六萬封度方増加する事が出来るのである。

一九二七年中の同社生産高は四千九十六萬封度であつた。又昨年中の同社販賣高は四千八百三十九萬五千封度と前年より六割方激増を示した。尤もこの販賣高中には

昨年初頭の同社の持越しを含んでゐるのであるが、その持越しはいくらであつたか今明かでない。昨年及び一昨年の同社の生産高及び販賣高を月別にすれば左の通りである。

Table with columns for months (January to December) and rows for production and sales figures for 1926 and 1927.

○アメリカ人絹消費激増

在ニューヨーク原商務書記官發二月五日着電によれば、昨年の世界人絹生産額は二億六千五百萬封度である。内アメリカの生産高は七千五百萬封度、輸入高千六百萬封度、一昨年の持越しを加へその消費額は世界の生産總消費額を超過した。本年のアメリカ人絹生産高は九千五百萬封度、輸入高は三千萬封度である。

倫敦生絲相場

Table showing London silk market prices for various grades and types of silk, including 上海七里經絲, 廣東新式經絲, etc.

○一月生絲絹織物輸入高

イギリス商務省發表、一月中にイギリスが日本より輸入した生糸及び絹織物は左の如くである。單位生糸は封度、絹織物は千平方ヤード。

Table showing January silk and textile import statistics for the UK, comparing 1926 and 1927 data.

羊毛

英國羊毛市況

アランドワード 二月十一日(土)

△トップ 相場が高いので依然新規の商内は少量である。然しトップ製造業者の多くは相變らず餘り賣物を出さな。

△毛糸 引合は増加してゐるが然し實際に商内の出来たのは殆ど當座の手當品に限られてゐる。

△毛織物 引合は増加したが取引は大部分當用品である。

○二月日本毛織物輸入高

イギリス商務省發表、一月中にイギリスより日本へ輸出した毛織物は左の如くである。單位千平方ヤード。

Table showing February Japanese textile import statistics for the UK, comparing 1926 and 1927 data.

油脂

英國油脂市況

ロンドン 二月十一日(土)

△亞麻仁 落付いてゐるが商内は極めて少い。

△亞麻仁油 閑散、落付かない。

△大豆油 需要は見直すに至らない。

紐育植物油相場

ニューヨーク 二月八日(水)

Table showing New York vegetable oil market prices for various types of oil like 亞麻仁油, 菜種油, etc.

○十二月末迄の棉實油統計

アメリカ國務局發表、昨年八月より同年十二月末に至る五ヶ月間のアメリカ棉實及び棉實油統計は左の如くである。

Table showing US cottonseed oil statistics for the period from August to December of the previous year.

小麥

米國小麥市況

シカゴ 二月十一日(土)

今週のシカゴ小麥相場は些少年ら昂騰した。これは(一)現物に買氣が出た事。(二)輸出が見直した事。(三)一部の産地には雨が不十分である事。(四)その上害蟲に襲はれてゐる事等に因る。アルゼンチン小麥の今週の輸出見積高は九百十五萬八千ブツセルに上り新記録を作つた。その後輸出商はヨーロッパへ現物並に期近物の賣物を多量に出してゐる。一方製粉會社の買付はぼつぼつながら殖えてゐる。

英國小麥市況

リヴァプール 二月十一日(土)

今週のリヴァプール小麥市況は相變らず極めて鈍狀である。然し週末の氣配は稍や見直してゐる。

外國米相場

ラングレオン 二月六日(月)

△サイゴン白米(一等品) 一兩四角五分

上海穀相場

(現物、一擔建)

Table showing Shanghai grain market prices for various types of rice and wheat.

砂糖

米國砂糖市況

キユーバ手持筋は一封度二セント半以下では賣り應じないが關稅免除の屬領糖ならこれより廿二分ノ一セント安で賣物がある。それでも今週は相當の商内が出来、主として仲買筋が買つた。今週の市の中商内出来高はキユーバ糖二十三萬一千袋、ポルトリコ糖八萬八千袋、合計三十一萬九千袋である。

ヨーロッパ筋はキユーバの輸出割當糖中の未約定品に對して買氣を示してゐるがその引合ひ値段は安い。

目下市場の氣配は尙ほ區々であるが、相場が底をいれたと觀測する者が漸く多くなつてゐる。然しシーズンの終り迄にはまだ可なり多量の砂糖が市場に賣り出されるであらうし、又甜菜糖の競争もあるから、消費需要が一段と増加しない限り相場の昂騰は望み難いとの説もある。

精製糖の取引は尠い。會社賣り値は一封度五セント七〇で保合つてゐる。

玖馬砂糖統計

△新糖	今季累計	昨年同期
作業中工場	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇
生産高	六、五〇〇、〇〇〇	六、五〇〇、〇〇〇
キユーバ消費高	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
輸出港入荷高	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
輸出高	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
製糖工場在荷	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
及鐵道輸送中	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇

輸出港在荷高	三、〇〇〇、〇〇〇
輸出港在荷高	七、〇〇〇、〇〇〇
△最近數週統計	新糖、單位百トン
一月廿一日	一、五〇〇、〇〇〇
廿八日	一、三〇〇、〇〇〇
二月七日	一、二〇〇、〇〇〇

英國砂糖市況

△粗糖 買手は概して氣乗薄で商内は殆ど實際の必要品に限られてゐる。相場は期近物は引弛んでゐるが遠い先物は落付いてゐる。

△精製糖 イギリス内地の精製糖會社は今週賣り値を百十二封度に付三ペンス乃至六ペンス方引下げた。賣り値引下げにより商内は相當に出来た。

△定期市場 初め三ペンス乃至三ペンス半方下押したがその後底意配りとなり可成りの取引が出来た。

インド甘蔗糖最終豫想

インド政府は一九二七、二八年度の甘蔗糖最終豫想を左の如く發表した。

反別	一九二七年度	一九二八年度
收穫高	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
消費高	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

一月迄のジャワ糖荷動

スラバヤ	二月七日(火)
一月迄のジャワ糖荷動	一、〇〇〇、〇〇〇
荷動統計は左の通りである。	(單位トン、一トンは千キログラム)

輸出港出廻高	一、〇〇〇、〇〇〇
内トラス工場品	一、〇〇〇、〇〇〇
加照外同	一、〇〇〇、〇〇〇
輸出高	一、〇〇〇、〇〇〇
島内消費高	一、〇〇〇、〇〇〇
輸出港月末在荷	一、〇〇〇、〇〇〇
輸出可能量	一、〇〇〇、〇〇〇
△輸出可能量は二月以降四月末まで	

一月ジャワ糖輸出高

一月中のジャワ糖輸出高は左の如くである	(單位百トン、一トンは千キログラム)
五月以降	同
スエズ以西諸國	一、〇〇〇、〇〇〇
インド	一、〇〇〇、〇〇〇
香港	一、〇〇〇、〇〇〇
支那	一、〇〇〇、〇〇〇
日本(含臺灣)	一、〇〇〇、〇〇〇
其他諸國	一、〇〇〇、〇〇〇
合計	一、〇〇〇、〇〇〇

世界砂糖需給豫想

ランボーン商會は本日一九二七、二八年度(九月より八月迄の世界砂糖需給豫想を左の通り發表した。	
生産高豫想	一、〇〇〇、〇〇〇
消費高豫想	一、〇〇〇、〇〇〇
本年八月末持越高豫想	一、〇〇〇、〇〇〇
(備考) (單位千英トン)	
一九二二、二三年度	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二三、二四年度	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二四、二五年度	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二五、二六年度	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二六、二七年度	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二七、二八年度	一、〇〇〇、〇〇〇

護 謔

英國護謔市況

前週急に軟弱となつたゴム市場は其の後漸次見直し人氣回復の曙光が見えてゐた所、今週イギリス首相のゴム制限法に關する聲明書が突如發表される、や多量の賣物が殺到した。其の後買ひ支へが出たに拘らず、市場は殆ど停頓の姿であつた。これは政府が右聲明書を出すに至つた動機が全く不明であつたからである。制限法調査が結局どんな結果を齎すかに就ては意見を建つるには時期尚早であるが要するに此の度の聲明は結局當分の間は若干不安材料たるを免れまい。

倫敦護謔統計	ロンドン 二月六日(月)
前週	一、〇〇〇、〇〇〇
一月以	一、〇〇〇、〇〇〇
降累計	一、〇〇〇、〇〇〇
同	一、〇〇〇、〇〇〇
年	一、〇〇〇、〇〇〇
同	一、〇〇〇、〇〇〇
引取高	一、〇〇〇、〇〇〇
在荷高	一、〇〇〇、〇〇〇
△最近數週統計	
一月廿一日	一、〇〇〇、〇〇〇
廿八日	一、〇〇〇、〇〇〇
二月四日	一、〇〇〇、〇〇〇
△週末在荷民間豫想	
二月十日(金)	一、〇〇〇、〇〇〇

倫敦護謔統計

ロンドン・ゴム協會發表(單位トン)	
前週	一、〇〇〇、〇〇〇
一月以	一、〇〇〇、〇〇〇
降累計	一、〇〇〇、〇〇〇
同	一、〇〇〇、〇〇〇
年	一、〇〇〇、〇〇〇
同	一、〇〇〇、〇〇〇
引取高	一、〇〇〇、〇〇〇
在荷高	一、〇〇〇、〇〇〇
△最近數週統計	
一月廿一日	一、〇〇〇、〇〇〇
廿八日	一、〇〇〇、〇〇〇
二月四日	一、〇〇〇、〇〇〇
△週末在荷民間豫想	
二月十日(金)	一、〇〇〇、〇〇〇

新嘉坡護謔成績

シンガポール 二月十日(金)	
前週	一、〇〇〇、〇〇〇
一月以	一、〇〇〇、〇〇〇
降累計	一、〇〇〇、〇〇〇
同	一、〇〇〇、〇〇〇
年	一、〇〇〇、〇〇〇
同	一、〇〇〇、〇〇〇
引取高	一、〇〇〇、〇〇〇
在荷高	一、〇〇〇、〇〇〇
△最近數週統計	
一月廿一日	一、〇〇〇、〇〇〇
廿八日	一、〇〇〇、〇〇〇
二月四日	一、〇〇〇、〇〇〇
△週末在荷民間豫想	
二月十日(金)	一、〇〇〇、〇〇〇

コム制限法引縮めを力説

アンダロ・セイロン一般土地會社社長サー・エドワード・ロス氏は今朝コロomboに來着したが氏はコム制限問題に就て左の如く述べた。

「近來コム制限法廢止を唱へる者があるが、若しこれを廢止せばコム相場は一封度に付六ペンスに暴落する。自分はこの制限法が廢止されることは全然考へない。又廢止すべき徴候もない。反對に自分はセイロンに於ては制限法引縮めの必要を感ずるのである。」

○植民次官のマレー訪問
マンチエスター 二月十日(金)
マンチエスター・ガートチヤン新聞所報によるイギリス植民次官オルムスビー・ゴア氏はコム輸出制限法の實績を他の問題調査のため近くマレーに赴く筈である。

來年は撤廢か

セイロン島のコム制限は來年撤廢されるもの一般に信ぜられる。この觀測はイギリス首相のコム制限法調査聲明に次いで更にコム諮問委員會委員長サー・マシュー・ネーサン(Sir Matthew Nathan)氏が最近法制改革委員の一員としてセイロン島を訪問した事によつて益々有力になつて來た。

コム制限撤廢に就ての一般の意見を見るにセイロン島のコム生産者の大部分は相當の豫告さへあればこの制限撤廢に賛成してゐる。それは從來植民省の命令によりコム生産高が増加されたり減らされたりして少からず困つてゐたからである。

一方セイロンの大コム會社たるアンダロ・セイロン一般土地會社社長サー・エドワード・ロス氏は二月七日コム制限引縮めの必要を大に力説宣傳したが、これは今となつて見れば餘り成功しなかつたやうである。

次に某有力コム栽培業者は次の如く述べてゐる。「若しコム樹の接木が成功するか或は純良な種子を使用する事によりセイロン島の生産高を四倍に増加する事が出来れば、コム栽培業者は相場が一封印に付米貨十セント乃至十二セントでも利益を擧げる事が出来る。」とある。

ゴム制限法の運用状態調査

倫敦・紐育・新嘉坡のゴム相場惨落

ロンドン 二月八日(水)
イギリス首相ボールドウィン氏は法制審議委員会(The Committee of Civil Research)に對し次の諸項に就て調査を命じた。

一、現在のゴム制限法の運用状態並にその効果如何。
一、制限法の條項に變更を加へずして存続すべきや、又は變更の必要ありや否や乃至は撤廢すべきや。

一、右の問題に就て如何なる政策を取るべきや、又如何なる方法によつてこれを効果あらしむべきや。

尙ほ同委員会の經過は嚴秘に附せられ發表されないてあらう。兎に角現在の制限法は右委員会の調査が終了する迄は變更を加へず現行の儘に置かれる。

栽培業者組合は調査委員を援助せん

イギリスのゴム栽培業者組合(The Rubber Growers' Association)は政府のゴム制限法調査委員任命に關し左の如きコミニケを發した。

『首相ボールドウィン氏が八日夜に於て突如今回の聲明を發しゴム業者を驚愕せしめた事は政府の態度としては採らざる所である。吾人は法制審議委員会の仕事に對し能ふ限りの援助を惜ま

ない積りであるから、この調査は不當に長時日を費さず速に完了せしむべきである。』

調査開始期

ロンドン 二月十日(金)

法制審議委員がゴム輸出制限問題調査に着手するのは三週以後の見込みである。この調査委員会が他の一般の委員会と異なる點は委員長に樞密院議長バルフォア卿を引張つて来たことである。バルフォア卿が不在の節は例の如く植民大臣が代理を勤める事になつてゐる。その他の委員は大部分政府當局者で委員以外にゴム商人、ゴム栽培業者中の専門家を選任し、證人として時に出席を求めらる事になつてゐる。尙ほ調査の結果は政府に報告する事になつてゐるが、これは一般に公表されるか、否かは目下の所不明である。

議會に於ける問答

ロンドン 二月十日(金)

本日のイギリス下院に於て議員ネルソン氏は首相のゴム制限法調査聲明によりゴム相場が惨落した點に注意を喚起し、市場の不安を一掃する爲にその調査を急がれたしご要請した。右に對し首相ボールドウィン氏は「調査委員は多くの調査材料を集めなければならぬので、政府にその結果を報告する迄には相當の時日を要するであらう」と述べた。

次いで議員ミッチェル氏は「政府の最近の聲明によりロンドンゴム相場は一トンに付二十三ポンド方惨落した」と述べ、更に「政府は現在の制限法を今後一ヶ年變更する事なく實施するか」と質問したが、首相は「その質問は植民大臣に發せられたし」と突き放した。

ゴム相場惨落

昨年から年末にかけて順調なる昂騰歩調を辿つたゴム相場は新年に入るや低落歩調に轉じ、デリアを示してゐたが二月九日俄然大崩落を演じた。これはイギリス首相ボールドウィン氏がゴム制限法の運用状態等を調査すべく法制審議委員会に命令したからである。最近の相場足取りを示せば次の通りである。

一月廿一日	ロンドン	ボールドウィン
廿七日	ロンドン	ボールドウィン
二月一日	ロンドン	ボールドウィン
七日	ロンドン	ボールドウィン
八日	ロンドン	ボールドウィン
九日	ロンドン	ボールドウィン

ロンドン ゴム制限法に關する

ボールドウィン氏の聲明書が發表されるや市場は狼狽を來し各方面より賣物殺到して相場は初め二ペンス方暴落した。尤もその後稍や引戻したが市場は頗る落付を缺いてゐる。

ニューヨーク イギリス首相ボールドウィン氏のゴム制限法調査委員任命の聲明はニューヨーク・ゴム取引所に於ては大に弱氣に解釋され市場は大波瀾を呈した。即ち本日市場開場と共に賣物は雪崩を打つて殺到し期近物は忽ち三セント方大奔落を演じた。その後ゴム工場の買物で幾分引戻し氣味であつたが午後にはブル筋の買ひ支へも利かず再び下落した。大引相場を前日に比較すると二セント半乃至二セント四分ノ三方の惨落である。尙ほ九日の取引出来高は二千六百三十一枚(一枚は二トン半)で同取引所開設以來の多額である。(第五頁掲載の相場は市中相場である)

肥料

一月對日硫安輸出高

イギリス商務省發表、一月中に日本へ輸出した硫安は左の如くである。	
一月中	八、七〇〇トン
前年同期	四、〇〇〇
前々年同期	五、四〇〇
(備考)(單位トン)	
昨年一月	四、〇〇〇
二月	一、三〇〇
三月	七、四〇〇
四月	三、八〇〇
五月	八、一〇〇
六月	三、六〇〇
本年一月	八、七〇〇

獨逸對日硫安輸出高

在ハンブルク來德總領事二月九日發電によれば、ドイツ硫安相場はシナチケト賣値日本港(一トンに付十二ポンド十二シル六ペンス)である。

船舶

英國海運市況

ロンドン 二月七日(火)
最近のロンドン海運市況は極めて鈍狀である。

ハルビン豆柏相場

市相相場貨換算(浦鹽渡百斤建)	二月八日(水)	四圓三錢見當
	九日(木)	四圓三錢見當
	十日(金)	四圓三錢見當

英國海運市況

ロンドン 二月七日(火)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十日(金)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十一日(土)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十二日(日)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十三日(月)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十四日(火)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十五日(水)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十六日(木)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十七日(金)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十八日(土)	二三月積	二六志
ロンドン 二月十九日(日)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十日(月)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十一日(火)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十二日(水)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十三日(木)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十四日(金)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十五日(土)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十六日(日)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十七日(月)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十八日(火)	二三月積	二六志
ロンドン 二月二十九日(水)	二三月積	二六志
ロンドン 二月三十日(木)	二三月積	二六志

北氷洋航路開始準備

ハルビン農務當局は北氷洋を経由ウラジオオク北海岸地方方面に近く航路設定の爲め昨年末義勇艦隊所屬汽船を北氷洋コルマ河口まで派遣したがこの程愈々政府の決定に基き開港の準備に着手した。尙ほ同航路に使用する汽船は日本に注文する筈である。

世界主要港石炭相場

ロンドン 二月七日(火)	三志
ロンドン 二月十日(金)	三志
ロンドン 二月十三日(月)	三志
ロンドン 二月十六日(木)	三志
ロンドン 二月十九日(日)	三志
ロンドン 二月二十二日(水)	三志
ロンドン 二月二十五日(土)	三志
ロンドン 二月二十八日(月)	三志
ロンドン 二月三十日(火)	三志

英獨石炭提携提案

ロンドン 二月十一日(土)
最近ドイツを訪問して歸朝した保守黨議員ブリス氏は十日のイギリス下院に於て英獨石炭提携を提案したがこれは非常なる興味を惹いた。氏は右提案に就て左の如く下院に於て述べた。

「自分はドイツ鋼鐵カルテル及び石炭シンデケートから依頼を受け全權を委任されて茲にこれを提案するのである。ドイツではアメリカを除く全世界の石炭市場を支配する爲にイギリスの石炭輸出商と握手せんことを希望してゐる。若しイギリスにドイツ同様の石炭シンデケートがあるならばドイツは直接そのシンデケートに申込む筈であるが、イギリスにそれが無いから自分に依頼したのである。」

○本誌定價一部金一圓(半ヶ年)廿六週分(郵税共金貳拾圓)
發行所 大阪市東區北濱五丁目十二番地 新聞聯合社大阪支社
電話本局二二〇〇番三八四〇番
振替貯金口座大阪六八〇〇〇番
編輯發行兼印刷人 東川嘉一